



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
 コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 泰夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 梅山 雅紀
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 022-385-7692
—

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	25,329	△6.9	1,129	△6.2	1,220	△6.3	713	△6.9
2019年3月期第3四半期	27,214	4.8	1,203	0.4	1,302	1.4	766	0.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 772百万円 (3.6%) 2019年3月期第3四半期 745百万円 (△21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	102.17	—
2019年3月期第3四半期	109.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	30,593	16,316	47.7
2019年3月期	31,637	15,881	44.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 14,596百万円 2019年3月期 14,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	20.00	—		
2020年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	36,000	△1.5	1,650	△0.8	1,750	△2.7	1,000	△9.3
								143.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の
会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注
記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期3Q	7,004,000株	2019年3月期	7,004,000株
2020年3月期3Q	17,852株	2019年3月期	17,768株
2020年3月期3Q	6,986,226株	2019年3月期3Q	6,986,211株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による駆け込み需要とその反動減が発生したものの、雇用情勢や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦、中国経済の減速懸念等、海外情勢の不確実性により先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の売上高は253億29百万円と前年同四半期に比べ18億85百万円(6.9%)の減収、営業利益は11億29百万円と前年同四半期に比べ74百万円(6.2%)の減益、経常利益は12億20百万円と前年同四半期に比べ82百万円(6.3%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億13百万円と前年同四半期に比べ53百万円(6.9%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、135億22百万円と前年同四半期に比べ6億57百万円(4.6%)減少いたしました。営業利益は12億16百万円と前年同四半期に比べ49百万円(4.2%)の増加となりました。

当部門の売上高の状況といたしましては、溶解アセチレンは圧接向けの需要が減少いたしました。販売価格の見直しを行ったことにより増加し、また、窒素は半導体・エレクトロニクス向けの需要が増加、アルゴンは工事案件の獲得等により売上高は増加いたしました。一方で、酸素は電炉・鉄鋼向けの需要が減少し、また、液化石油ガス及び石油類は輸入価格の下落の影響を受けたこと等により売上高は減少いたしました。

利益面におきましては、売上原価が液化石油ガスの輸入価格の下落により減少し、営業利益は増加いたしました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、81億8百万円と前年同四半期に比べ5億35百万円(6.2%)減少、営業利益は1億99百万円と前年同四半期に比べ18百万円(8.7%)の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、溶接切断器具及び生活関連器具の需要が減少したことにより売上高は減少し、営業利益も減少いたしました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、21億67百万円と前年同四半期に比べ7億30百万円(25.2%)減少、営業利益は61百万円と前年同四半期に比べ95百万円(60.8%)の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、自動車部品メーカーの設備投資需要が減少したことにより売上高は減少し、営業利益も減少いたしました。

その他事業

その他事業の売上高は、15億31百万円と前年同四半期に比べ39百万円(2.6%)増加、営業利益は2億6百万円と前年同四半期に比べ1百万円(0.7%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、製氷・冷凍機械等の引渡しが増加したことにより売上高は増加し、営業利益も増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、305億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億43百万円減少いたしました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類の輸入価格が下落し売上高が減少したこと及び自動車機器関連事業の設備投資需要の減少により、売上債権が減少（11億11百万円）したこと等によるものであります。

負債は、142億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億79百万円減少いたしました。この主な要因は、器具器材関連事業の仕入債務の支払いが進んだこと、自動車機器関連事業の仕入高減少により仕入債務が減少（5億83百万円）したこと及び借入金が増加（2億73百万円）したこと等によるものであります。

純資産は、163億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億35百万円増加いたしました。この主な要因は、配当金の支払いにより減少（3億14百万円）いたしましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上（7億13百万円）したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,590,577	7,716,581
受取手形及び売掛金	6,792,817	6,427,250
電子記録債権	3,374,474	2,628,581
商品及び製品	803,543	1,079,479
仕掛品	374,315	108,250
原材料及び貯蔵品	83,759	102,069
その他	190,118	214,434
貸倒引当金	△21,748	△22,470
流動資産合計	19,187,859	18,254,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,287,793	3,157,196
機械装置及び運搬具（純額）	945,665	898,891
土地	5,543,936	5,634,424
その他（純額）	460,180	365,149
有形固定資産合計	10,237,576	10,055,662
無形固定資産	126,657	149,494
投資その他の資産		
投資有価証券	1,203,312	1,243,019
その他	921,244	929,158
貸倒引当金	△39,154	△37,784
投資その他の資産合計	2,085,403	2,134,393
固定資産合計	12,449,637	12,339,550
資産合計	31,637,496	30,593,728
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,697,834	5,200,133
電子記録債務	1,940,157	1,854,365
短期借入金	3,280,000	3,271,000
1年内返済予定の長期借入金	424,016	348,960
未払法人税等	315,260	142,755
賞与引当金	370,260	186,576
役員賞与引当金	17,725	1,800
その他	1,206,536	1,084,670
流動負債合計	13,251,790	12,090,261
固定負債		
長期借入金	390,652	201,146
役員退職慰労引当金	421,564	304,746
退職給付に係る負債	1,391,975	1,372,439
資産除去債務	5,657	5,735
その他	294,634	302,651
固定負債合計	2,504,483	2,186,719
負債合計	15,756,274	14,276,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	981,967	1,004,269
利益剰余金	10,854,455	11,253,473
自己株式	△9,570	△9,706
株主資本合計	14,087,852	14,509,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,187	87,077
その他の包括利益累計額合計	82,187	87,077
非支配株主持分	1,711,182	1,720,633
純資産合計	15,881,222	16,316,747
負債純資産合計	31,637,496	30,593,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	27,214,859	25,329,656
売上原価	19,637,484	17,871,206
売上総利益	7,577,375	7,458,449
販売費及び一般管理費	6,373,590	6,328,847
営業利益	1,203,784	1,129,601
営業外収益		
受取利息	355	521
受取配当金	22,109	18,015
受取賃貸料	62,580	62,048
持分法による投資利益	23,708	11,790
その他	53,201	50,520
営業外収益合計	161,955	142,896
営業外費用		
支払利息	29,271	26,606
賃貸費用	27,211	23,129
その他	6,345	1,991
営業外費用合計	62,828	51,727
経常利益	1,302,912	1,220,770
特別利益		
固定資産売却益	5,832	3,544
特別利益合計	5,832	3,544
特別損失		
固定資産除売却損	25,714	9,112
減損損失	1,667	—
災害による損失	—	43,528
特別損失合計	27,382	52,641
税金等調整前四半期純利益	1,281,362	1,171,674
法人税等	449,090	404,434
四半期純利益	832,271	767,239
非支配株主に帰属する四半期純利益	65,407	53,436
親会社株主に帰属する四半期純利益	766,864	713,802

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	832,271	767,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85,409	4,577
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,390	459
その他の包括利益合計	△86,800	5,037
四半期包括利益	745,471	772,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	697,018	718,692
非支配株主に係る四半期包括利益	48,452	53,583

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2019年5月17日開催の取締役会において、2019年6月24日開催の定時株主総会終結時をもって、役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。また、同株主総会において役員退職慰労金の打切り支給について承認可決されました。

これにより当社の「役員退職慰労引当金」を取崩し、打切り支給に伴う未払額46百万円については、各役員の退任時に支給することから、「固定負債」の「その他」に含めて計上しております。

なお、一部の連結子会社については引き続き、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金に関する内規に基づく要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,180,175	8,644,681	2,898,379	1,491,623	27,214,859	—	27,214,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	14,180,175	8,644,681	2,898,379	1,491,623	27,214,859	—	27,214,859
セグメント利益	1,167,335	218,135	156,895	205,004	1,747,370	△543,585	1,203,784

(注) 1 セグメント利益の調整額△543,585千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,522,322	8,108,743	2,167,587	1,531,002	25,329,656	—	25,329,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,522,322	8,108,743	2,167,587	1,531,002	25,329,656	—	25,329,656
セグメント利益	1,216,934	199,158	61,463	206,364	1,683,921	△554,320	1,129,601

(注) 1 セグメント利益の調整額△554,320千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。